

学校だより

令和7年9月1日

# ふれあい

No. 5

編集発行

上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。本日、始業式で、子どもたちに次のような話をしました。

夏休み中に、わくわくすること、チャレンジしたこと、ありがとうと感謝したことはありましたか。

たくさんあった夏休みの時間をどのように使ったか手を上げて教えてください。研究をした、工作をした、スポーツをした、旅行をした、親戚の家に行った、親戚が家に来た、墓参りに行った、児童クラブに来ていた、多くの人とかかわった、勉強をたくさんした、読書をたくさんした、テレビをたくさん見た、ゲームをたくさんした、動画をたくさん見た、手伝いをたくさんした、謙信公祭に行った、たくさん眠った、ボーっとしていた…時間の使い方には、いろいろありますが、皆さんには、夏休み中にたくさんの「わくわく、チャレンジ、ありがとう」があったことが、よく分かりました。

さて、皆さんに質問です。自分の意思で「始める」「続ける」「やめる」ことの中で、一番難しいのはどれでしょうか。

絵本作家の西野亮廣さんは、「やめること」「始めること」「続けること」の順に難しいと言っています。西野さんは、『えんとつ町のプペル』などの絵本を作った方で、まるで写真みたいに、とっても細かく描かれているのが特徴で、キラキラと光るものがたくさん出てきます。細かい絵を描く西野さんですから「続けること」が一番難しいと言うのかと思ったら、「始めること」よりも、「やめること」の方が遥かに難しく、そして「続けること」がブッチ切りで簡単だと言うのです。「続けること」はなぜ簡単なのか？という質問に、西野さんは「判断しなくていいから」と答えます。「始めること」や、「やめること」は、判断しなくてはいけません、  
「続けること」は判断しなくてよく、何も判断しなかったら続くと言うのです。逆に「やめること」は、今までの自分や、これまでの歩みを手放す決断だからとても勇気がいると話します。

皆さんが夏休み中に時間をかけていたことの中にも、続けるのか、やめるのか、判断が必要なものがありそうです。例えば「朝はゆっくり眠っていたい」と言って寝ている状態は、自分で決めてやめなければいけません。やめることは簡単ですか？（「できる」という顔でした。）「ゲームや動画の時間が長くなって何もできなくなってしまふから、もうしないことにする」と決めて、すぐにやめることができますか？（「できない」という顔でした。）中には、やめられなくて病気になってしまう人もいますので、気を付けてください。

ところで、先週、謙信公祭がありました。ちょうちん行列や出陣行列があり、参加して歩いた人や見物した人、6年生の中にはボランティアとして運営を手伝った人もいました。地域のお祭りをみんなで協力して楽しく盛り上げるのは、とてもよいことですね。そして、6年生は最終日の夕方に、文化会館で春日小学校金管バンドとして素晴らしい演奏発表を行いました。

春日小学校金管バンドは、1980年代から金管楽器を購入して整備していましたが、児童数が多いため、鼓笛隊から金管バンドへの転換は難しい状態でした。ペットボトルに砂利を入れてマラカスのように鳴らして歩いた年もありました。1995年度に柳澤正喜校長先生が6学年全員で取り組む学年金管バンドを構想し、翌1996年度に上新開発様から100台以上の金管楽器を寄贈していただき、構想が実現しました。しかし、「始めること」は大きなエネルギーが必要で、とても大変です。練習時間をどうするか、音楽授業との関わりをどうする

か、修理・維持をどうするか、それまであった金管部はどうか、活動可能な編制にするにはどうか、指導する先生をどうするか、たくさんの課題がありました。授業も放課後も、夏休み中も登校して練習を積み重ね、2年後の1997年には、ジュニア・バンド・フェスティバル東日本大会に新潟県代表として参加しました。その後は、謙信公祭や音楽フェスティバルで保護者や地域の皆様に演奏を発表してきました。

しかし、10年ほど前から先生方の中で金管バンドの継続は難しいという話合いが何度もされてきました（練習時間による教育活動の圧迫、児童の健康とストレスへの影響、指導者不足）。学校では無理が重なる中でしたが、それでも続けてきたことを簡単にやめることはできず、「続けること」を選択してきました。西野さんは「続けること」は簡単と言いますが、「続けること」も難しいです。

一昨年の第2回学校運営協議会で、金管バンドの継続について話し合われました。それをきっかけに、学校では後援会やPTA総会で説明し、地域移行ができなければ第100回謙信公祭が開催される令和7年度で金管バンドを最後にするという方向を示しました。その後、地域移行ができないか、上越教育大学など様々なところに相談しましたが、世話人も調整役も見つかりませんでした。そこで、今年2月7日発行の学校だよりで保護者や地域の皆様に事情を説明し、多くの方から情報をいただきたいと願い、アンケートを実施しました。

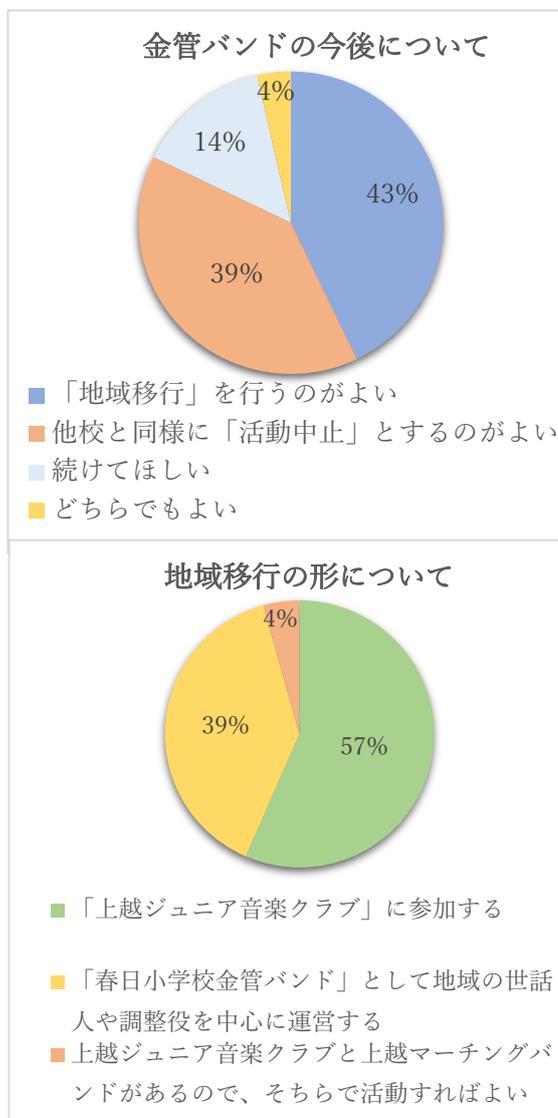
その結果、「地域移行」を行うのがよい43%、他校と同様に「活動中止」とするのがよい39%でした。「その他」として、「続けてほしい」という内容の回答が14%ありましたが、今のまま学校で続けることはできませんので、「地域移行」で続けるに含めると57%になります。

では、どのような地域移行を考えているかお聞きしたところ、「上越ジュニア音楽クラブ」や「上越マーチングバンド」に参加する形を選んだ方が約60%、「春日小学校金管バンド」として地域の世話人や調整役を中心に運営する形を選んだ方が約40%でした。しかし、世話人や調整役の方を紹介してくださる回答は、1件もありませんでした。そうすると、地域移行は、「上越ジュニア音楽クラブ」や「上越マーチングバンド」に参加する形をとるしかありません。今後、2つの団体に相談をします。金管バンドは、学校では「やめること」と決めましたが、やりたい人が「続けること」ができるように、新しく「始めること」の取組をしていきます。

さて、春日小学校金管バンドの謙信公祭での最後の演奏は迫力があり、会場の人々を感動させるものとなりました。「これで最後になるのがもったいない」と思わせる最高の演奏だったと思います。ただ、6年生の演奏が最後になるわけではありません。音楽フェスティバルでの演奏を楽しみにしています。

私は、「始めること」「続けること」「やめること」は、どれも比べられないくらい難しいものだと考えます。ただ、大切なのは、それを判断することです。皆さんは、2学期に、何を続け、何をやめ、何を始めますか。例えば、明るく元気なあいさつを続ける。夜更かしや、ゲーム・動画を長くやり過ぎることをやめる。思いやりのある声掛けを始める。…などを考えてみてください。

何を続け、何をやめ、何を始めるか、判断をして、よりよい2学期にしていきたいと思います。





# 3学年 つばさ

何でもチャレンジ！！  
みんなで協力！  
～すてきに はばたけ つばさっ子～

3年生は、とても活発でパワフルに活動しています。社会科でまち探検や、のびやか活動で春日山のお宝を見つけるために出かけ、春日山に関心を寄せています。



文化行政課の方から、春日山の自然や上杉謙信についてお話を聞きました。



甲山神社では、春日山のお城にまつわる話を聞き、実際に社殿の中に入りました。



春日山城の本丸へ登りました。ここから上杉謙信も上越のまちを眺めていたのだなあと思いました。

校区の公共施設や商業施設、住宅地など、まちの様子を探検しました。



# 5学年 あおぞら

〈学年目標〉

メリハリ つながい 高まい

5年生は、思いやりのあるやさしい学年です。米づくりや自然教室での宿泊など貴重な体験を重ねながら、仲間と協力する大切さや最後までやりぬく力を身に付けています。

**米づくり体験**～地域の方々に協力していただきながら、米づくりに一生懸命に取り組んでいます。



**自然教室**～源流探検や妙高アドベンチャー、キャンプファイヤーなど自然の中での体験を仲間と協力しながら楽しみました。



# 春日ハッピーウィーク!

家庭学習強調週間で学びのリズムも整えよう!

春日小学校

学びづくりプロジェクト

## ☆学びのスタンダードを意識して活動に取り組みましょう!

2学期がスタートしました。9月1日(月)から5日(金)まで、「春日ハッピーウィーク」を実施します。年度初めに配付した「学びのスタンダード」の「授業編」「家庭学習編」を再確認しましょう。

春日中学校区小中一貫教育プロジェクト

**学びのスタンダード～授業編～**

学校は、学ぶところです。先生や友達と一緒に考えたり感じたりしながら、たくさんを知り、分かれ、できるようになっていきます。よりよく学ぶためには、よい学習習慣を身に付けることが大切です。

**1 学習用具**

○すべての持ち物に名前を書きます。  
○筆入れは、壊さず正しいものを選びます。筆の入れ以外のもので使うようにします。

**<筆記用品>**

- 鉛筆……2B、Bを5本程度、筒やにおい、削りのないシンプルなもの、キャップを使用する場合は鉛筆と同様、シンプルなもの、シャープペンシルは使わない。
- 筆記袋……筆袋は筆記袋、筆箱は学習用品、筆箱は、筆ホルダーか筆記袋、筒にせうし筒、削り器。
- 消しゴム……消しゴムは削り器で、削り器の削り器の削り器のもの。
- 定規……筆入れに入る15センチ程度のもの。
- ノート……筆の削り器。

※学年によっては、上記内容と異なることがあります。その場合は学年よりお知らせします。

**2 授業前の準備**

○学習の準備をしてから休めます。  
○授業開始時刻までに席に着きます。  
○読書のもの(教科書・ノート・学習書・筆入れ)を机の上にきちんと置きます。  
○道具をそろえてしまったら、授業が始まる前に、先生に話します。

**3 授業中のやくそく**

○授業に開始のあいものは、しまっておきます。  
○移動が必要なときには、先生に話します。  
○よい活動で授業に貢献します。

**4 聞く**

○発表する人の手を聞いて、口を閉じて最後まで聞きます。

- ・していることをゆめて
- ・相手に話を聞いて
- ・口を閉じて
- ・手を動かして
- ・うなずくながら

**5 話す**

**【話し方・発言の仕方】(学校全体で学習するとき)**

○発言したいときは手をあげます。  
○発言されたら「はい」と返事をします。  
○話す相手の手を聞いて話します。  
○お互いに「さん」をつけて呼びます。  
○みんなに聞こえるように声の大きさに気をつけて話します。  
○大きな声で話したり、静かに話したりするときは、話し方や声の大きさが変わります。

**<声の大きさの例>**

- 0: 声を出さない
- 1: となりの人と話すときの声
- 2: 4～6人の前で話すときの声
- 3: 教室のみんなに聞こえるように話すときの声
- 4: 体育館でみんなに話すときの声
- 5: グラウンドでみんなに話すときの声

しんがっき  
**新学期スタート!**

さら いしき  
**更に意識して**

と く  
**取り組もう!**

昨年度の2学期より、業間休みが10分から5分に短縮となりました。しかし、未だ授業開始時に着席していなかったり、準備が整っていなかったりする子が多く見られます。



## 2学期始めに全校で取り組むこと

- 次の授業の準備をしてから休憩をします。
- 時間までに着席します。

## 力を入れて取り組むことを決めていきます!

学習に関わることで、定期的に特に力を入れて頑張ることを決めます。「先生や友達の話をよく聞く」「相手に伝わる声で話す」など、学校全体で1つのことに力を入れて、できるようになることを目指します。みんなで力を合わせて、学習により集中できる雰囲気をつくっていきましょう。

## おすすめの自主学習を紹介します!

みなさんが家庭学習で取り組んだ「自主学習」を、各学級、学年で紹介していきます。全校には、自分で課題を見付け、いろいろな形で自主学習に取り組んでいる人がいます。各学級でがんばって取り組んでいる友達の自学を参考にしながら、家庭学習の充実を目指しましょう!